

親子でふれあい 笑顔いっぱい

「ふれあいを全ての親子に」を理念に、親子が笑顔になれる活動を行っている「まんどろスマイル」。妊娠中にベビーマッサージの資格を取得した佐藤真紀子さんが、「親子のために自分ができることをしたい」と、2011年10月に活動をはじめました。転入してきて間もない方や育児休業中の方など、親子で楽しく時間を過ごしたい方が参加しています。普段心に余裕を持てないママも親子でゆっくりふ

れあいの時間を持つことができ、ママの笑顔を見た子どもから「ママ、ここにきてよかったね」と言われることもあるそうです。そんな、ママと子どものうれしそうな様子が、佐藤さんの活動の源になっています。

まんどろスマイル

検索

詳しくは、ブログやFacebookをご覧ください！



赤ちゃんヨガの様子。ママとのふれあいはもちろん、周りの赤ちゃんから学ぶことも多いようです。



幼い頃からママとふれあって育った子どもは、自分の気持ちを伝えるのが上手に！



運動やお花見など、ママたちが同じ時間を過ごすことでリフレッシュにもつながる「ママの会」。



チャイルドヨガ
バレリーナのポーズ。
ママの支えで、安心してポーズをとっています。



主宰の佐藤真紀子さん。今後は、妊娠期のママを対象とした育児講座も行いたいと考えています。



ヒントfrom“たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● 見せ方・もてなし…さまざま

2016年10月25日(火) 掲載
たがさぽスタッフが、町内会の文化祭を見学に行きました。いろんな特技を持った人がいることや、訪れた方がリラックスできる雰囲気づくりに脱帽。

● 自分たちの手で街をキレイに。

2016年11月3日(木) 掲載
「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに、「街のそうじ」に取り組むNPO法人green bird。現在、国外を含めて86チームが各地で活動しています。

● 子育てパパ、活動中！

2016年11月10日(木) 掲載
ママによる子育て支援の取り組みは多くありますが、パパも頑張っています。子育てパパを支援する活動や、パパが活躍している団体をご紹介します。

“たがさぽPress”とは？

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ！ ＊ケータイ、スマホからご覧いただけます。



たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

TAGAJO Future Labo 2nd season

マイ
アブローチ
発表会

参加者募集！

「地域で何かに取り組みたい！」「特技を地域で活かしたい！」これまで4回にわたって、想いを深めるワークショップや地域づくりの先輩からの学びに取り組み、受講生それぞれの想いをかたちにできました。今回は受講生が考えたプランの発表と、交流会を行います。地域づくりに関心のある方、地域で何かはじめたいと考えている方、ぜひご参加ください。一歩踏み出すヒントや、新たなつながりが見つかるかもしれません。

日 時	2017年1月21日(土) 午後1時～午後4時
会 場	多賀城市市民活動サポートセンター 大会議室
費 用	無料
定 員	30名(先着順/要事前申込)
申込み	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745(多賀城市市民活動サポートセンター)



若者の視点を多賀城に。Truss

厚生労働省の調査によると、若者の多くが「社会のために役立つことをしたい」と考えているという結果が出ています（下のグラフ参照）。今回は多賀城での若者の取り組みとして、東北学院大学工学部に通う学生たちのボランティアサークル「Truss（トラス）」をご紹介します。

学生たちの多賀城への想い

何か地域に貢献したい、多賀城をワクワクするまちにしたい、まちのよいところを見つけない…という想いを持つ学生たちが、多賀城のために活動したいと立ち上げた「Truss」。まず取り組んだのはゴミ拾い。多賀城駅から大学までの間に落ちているゴミに気づき、気持ちよく歩けることも、まちの魅力アップには必要と考えたことがきっかけでした。

その後、2015年の「史都多賀城万葉まつり」の時には、若い世代にまつりに関心を持って足を運んでもらおうとPRポスターを作成するなどイベントの手伝いもしました。ただ、依頼を受けて手伝うことが多く、若者ならではの考えを生かす余地が少ないという課題もありました。そこで、自分たちで多賀城の魅力を見つけ、発信する企画を実施したいと考えようになりました。

若者のアイデアを、アクションに！

11月下旬に行った、多賀城をおもしろくするため、魅力を広く伝えるためのアイデア出しワークショップ。最近の流行やメンバーの興味のあることからさまざまな意見が出ました。

アイ
ディ
ア

- 「ユーチューバーに多賀城を広めてもらってはどうかろう」
- 「トレーディングカードやライトノベルにして伝えるのもおもしろそう」
- 「まずは多賀城のことを知りたい。若者目線のまちあるきをしたい」

などなど

話し合った結果、まずは…

多賀城のまちを歩き、おもしろいところを探してみようということになりました。ただし、すでに多くの人が注目している「歴史」「グルメ」といったものではなく、これまでとは違う視点を取り入れることにしました。

ARCHI-
TECTURE

例え

個性豊かな建物

建築を学んでいる学生ならではのですね。こうした専門性で探すのもポイントの一つ。

SIGN

例え

道端などにあるおもしろいもの変わった看板

地元の人にとっては見慣れたものでも、学生にとってはおもしろく感じるものもあります。

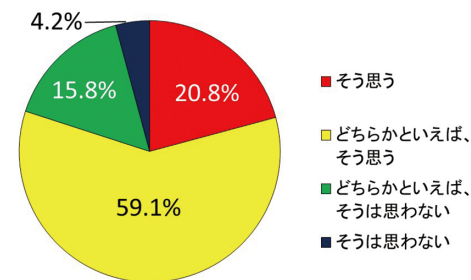
SOUND

例え

音やにおい

見るだけでなく、五感をフル稼働する新たな発見も。

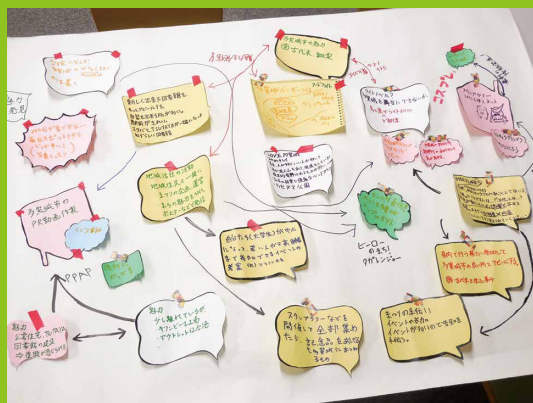
設問32 「社会のために役立つことをしたい」と
思いますか。



出典：厚生労働省「若者の意識に関する調査」
(2013年実施、全国の15～39歳の3133人が回答)



アイデア出しに取り組む「Truss」のメンバー。



思いついたことを紙に書き出し、関連付けもしました。

まちを歩いてどんなおもしろいものが見つかるか、
そしてどのように多賀城の魅力を伝えていくか、今後の展開に期待です。

